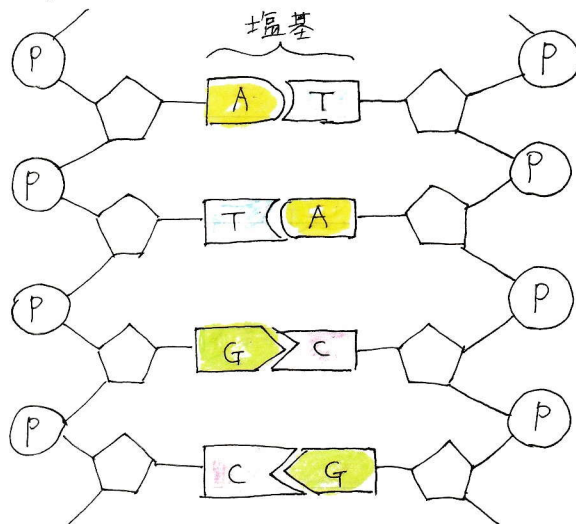


DNAの二重らせん構造

DNAは 対になる 2本の (ヌクレオチド鎖) からなっていて、塩基間で結合している。



AとT、GとCと絶対にコンビが決まっています。
このように、塩基どうしの対のことを (塩基対) という。

このヌクレオチド鎖が2本、
向かい合って並び、内側に突き出た
塩基どうしが結合したものが、
全体的にねじれてらせん状に
なった (二重らせん構造) を
している。

DNAの二重らせん構造において、
塩基部分が A-T、G-C で
対に結合している。この結合を
(相補的結合) という。

